

7/6

茂岩保育所運動会



茂岩保育所の運動会が開催されました。時折晴れ間が見えるなか、子どもたちはたくさんの声援を受けて、練習の成果を発揮していました。親子競技では、子どもと一緒に走る父親の姿や、母親の手を借りながら細い段差の上を器用に歩く姿などがあり、子どもたちは楽しんで競技をこなしていました。



7/10

全道消防救助技術訓練指導会 出場隊員の激励会を実施



とかち広域消防事務組合は幕別消防署札内支署で、7月21日に開催される第48回全道消防救助技術訓練指導会（札幌市）に出場する隊員への激励会を行いました。豊頃消防署からは当大会に稲村大佑さん、小野寺大輝さんの2名の隊員が出場します。とかち広域消防事務組合からは、豊頃消防署を含めた6消防署から18名の出場者があり、豊頃消防署の2名はロープブリッジ渡過という競技に出場します。大会出場に際し稲村さんは「日頃の訓練の成果を発揮し、声をかけてくれる町民の皆さんに結果で応えたい」、小野寺さんは「先輩に負けずに全国を目指したい」と意欲を語りました。

7/9

陸上少年団4名、全道大会へ出場挨拶



陸上少年団の4名が第35回北海道小学生陸上競技大会（帯広会場）で優秀な結果をおさめたことから、7月14日、15日に開催される第37回北海道小学生陸上競技大会（札幌市）に出場することとなり、える夢館にある教育長室を訪れ、山本教育長に出場挨拶をしました。出場するのは6年生の軍司冬馬選手（コンバインドB：走り幅跳び・ジャベリックスロー）、足利優那選手（走高跳び）、今野琉菜選手（砲丸投げ）、5年生の鳥宮那由選手（80mハードル）の4名で、「自己記録を超え入賞したい」とそれぞれ意欲を語りました。それを受け山本教育長は「目標が実現するように祈っています」と激励しました。

6/21

小学生が地引網体験



長節湖で大津小学校全校児童と豊頃小学校4年生、大津保育所の子どもたちが大津小学校のPTAと漁業関係者の協力のもと、地引網体験学習を行いました。漁船から湖に投げ入れられた網を児童らは協力しあいながら岸まで引き上げました。網の中にはウグイやワカサギなどの淡水魚を始め約200匹ほどの魚が入っており、十勝地域水産技術普及指導所の職員から魚の名前や特徴の説明を受けました。捕獲した魚は再び子どもたちによって湖へ戻され、その後シジミ採り体験を行いました。

7/5

ねんどクラブが「陶の器たちのチャリティバザー」を開催



7月5日、6日の2日間、豊頃ねんどクラブ（熊野ミサ子代表）が「第9回 陶の器たちのチャリティバザー」を開催しました。年に1度の開催とあり、町内外から多くの来場者が訪れました。また会員の作成したマグカップなどを利用して、来場者へ会員手作りの菓子やコーヒーが無料で振る舞われました。並べられた作品はマグカップや皿、新たに加わったアクセサリやオブジェ等、約300点のものばかり、代表の熊野さんは「こうした活動を通して町中が元気になってくれれば」と話しました。またイベントの収益の一部はふるさと振興に寄附されます。

7/5

相馬市消防団と意見交換会



相馬市消防団（山田行雄団長）と豊頃町消防団（石田哲郎団長）が意見交換会をえる夢館交流室A・Bで行いました。相馬市から相馬市消防団長を始め、各分団長等17名が訪れ、東日本大震災での消防団活動などを中心に意見交換会が行われました。津波被害の状況把握や各所被害の情報共有の方法等、有効だった手段について各分団長から説明があった後、意見交換が行われました。豊頃町消防団石田哲郎団長は「実際に体験された方々からの話は大変貴重であるとともに、対策として具体的な内容となっているからこそ、今後の参考となった」と意見交換で話していました。

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

議会だより

役場だより

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

議会だより

役場だより